

令和元年度 研修会予定のご案内



京都 在宅医療

検索

詳細は順次、京都医報、当センターホームページでご案内いたします。

生活機能向上研修 ※多職種で取り組む「排泄」支援について

対象：医師・多職種

の研修会です。

排泄支援 Part「多職種で取り組む在宅における排泄自立支援のイロハ」

【と き】2020年2月8日(土) 14:30～17:30

【ところ】京都府医師会館2階 211、212、213会議室

【講師】井上医院 院長 井上 亘氏

NPO 法人快適な排尿をめざす全国ネットの会

理事 山口 昌子氏

(株)はいせつ総合研究所 排泄用具の情報館むつき庵

代表 浜田 きよ子氏

かかりつけ医認知症対応力向上研修(集合研修)

対象：医師、医療関係職種、介護職員等

南部会場

【と き】2020年1月25日(土) 14:00～17:30

【ところ】京都府医師会館3階 310会議室

【講師】北山病院 院長 澤田 親男氏

京都府立医科大学大学院 医学研究科

精神機能病態学 教授 成本 迅氏

※10月5日(土)に開催いたしましたかかりつけ医認知症対応力向上研修(集合研修)と同じ内容です。

認知症サポート医フォローアップ研修

対象：医師

南部会場

【と き】2020年3月28日(土) 16:30～19:30

【ところ】京都府医師会館3階 310会議室

【講師】京都大学大学院医学研究科 准教授 谷向 仁氏

京都府立医科大学大学院 医学研究科

精神機能病態学 教授 成本 迅氏

京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～

対象：医師・看護師

第3回「在宅における摂食嚥下障害への対応」

【と き】2020年2月16日(日) 10:00～13:00

【ところ】京都府医師会館3階 310会議室

【講師】東京ふれあい医療生活協同組合 研修・研究センター長

オレンジほっとクリニック 地域連携型認知症疾患医療センター長

平原 佐斗司氏

京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～

対象：医師

第5回「知っておきたい！在宅医療での薬剤師との連携」

【と き】2020年2月19日(水) 14:30～16:30

【ところ】京都府医師会館5階 京都府医療トレーニングセンター

【講師】まつだ在宅クリニック 院長 松田 かがみ氏

(株)ゆうホールディングス

在宅事業部 部長 薬剤師 小林 篤史氏

ナーシングケアホームおとく

訪問看護認定看護師 松久保 眞美氏

明けましておめでとうございます。

今年度も在宅医療推進にむけて様々な取り組みを行ってまいります。引き続きご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願いたします。



スタッフ一同

京都府医師会「府民公開講座」

対象：京都府にお住まいの方

「百まで生きる覚悟 進む長寿化、家族変化の時代の生き方・備え方」

人生100年と言われるようになり、多くの高齢者が「ピンピンコロリ」を目指すのが、その願いが叶うのは少数の幸運な人。70代までは元気でも、80代、90代は、老いの坂を「ヨロヨロ」と生き、「ドタリ」と倒れ、誰かの世話になって生き続ける「ピンピン・ヨロヨロ・ドタリ」の高齢期が現実的だ。しかし多くの高齢者が、「終活はバッチリ」「子どもの世話にはならない」と言いつつも、ドタリ後を「成りゆき任せ」で迎え、結局は「子どもに丸投げ」になってしまうのは、なぜなのか。不安を先送りしにせざるをえない制度的問題とは？

今回ご講演頂く家族社会学者 春日キスヨさんが、90～100歳間近の元気長寿者、70～80代の高齢者、また介護や世話を担う家族に聞き取りを重ね、元気なうちにどのように「身じまい」の支度をすべきなのか、をご講演頂きます。

【と き】2020年1月26日(日) 13:30～15:30

【ところ】京都府医師会館3階 310会議室

【講師】家族社会学者 春日キスヨ氏

【主催】一般社団法人 京都府医師会 〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6

【問合せ】株式会社 ビードリーム(担当：児玉/千葉) TEL.075-256-2405

定員
300名(先着順)

入場無料
申込不要

在宅医療に関する質問があればお問い合わせください。サポートセンターと保険医療課で連携し回答いたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階
tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol. 33

2020年1月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6097

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。
※当センターホームページにてバックナンバーがお読みいただけます。

Main menu

- ◆ 令和元年度 認知症対応力向上多職種協働研修会(綴喜/下京西部/綾部・福知山)開催報告(P2)
- ◆ 令和元年度 かかりつけ医認知症対応力向上地域連携研修会(伏見医師会)開催報告(P2)
- ◆ 令和元年度 第4回 京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～開催報告(P2)
- ◆ (公財)勇美記念財団助成 第10回近畿在宅医療推進フォーラム 開催報告(P3)
- ◆ 令和元年度 研修会予定のご案内(P4)
- ◆ <在宅医療あれこれ>(P3)

令和元年度 第4回 総合診療力向上講座 開催報告

10月19日(土)、京都府医師会館にて「高齢者診療における身体所見のエッセンス」と題し、市立福知山市民病院 研究研修センター長兼総合内科医長 川島 篤志氏にご講演いただき、143名(本会場120名、北部会場12名、南部会場11名)の医師が受講されました。



市立福知山市民病院
研究研修センター長兼総合内科医長
川島 篤志氏



本会場の様子



北部会場の様子



南部会場の様子

● 受講者の声 ● (受講後アンケートより抜粋)

- 普段の外来診療を見直す機会となりました。COPD 対策やフレイル、サルコペニアの評価・指導など大変参考になりました。ありがとうございました。
- 大変分かりやすく、よかったです。実際の臨床に則している、ACP まで含めてのお話しよかったです。
- 日常診療を見直し、かかりつけ医はどこまで対応すべきか考え直す機会となりました。
- 基本的な診察所見の必要性を再認識しました。
- 視聴打触の診断。初心を忘れないこと。機器に頼る前に、基本的なことを教わりました。

令和元年度 第2回 京都在宅医療塾Ⅰ～探究編～ 開催報告

11月24日(日)、京都府医師会館にて「在宅看取りのための苦痛の緩和」と題し、早期緩和ケア大津秀一クリニック 院長 大津秀一氏にご講演いただき、医師69名、看護師75名の方が受講されました。



早期緩和ケア大津秀一クリニック
院長 大津 秀一氏



全体の様子

● 受講者の声 ● (受講後アンケートより抜粋)

- 鎮痛薬の使用方法・副作用対策がすっきり理解できた様に思います。(医師)
- 自己流のやり方になっていないか、チェックが出来て大変有意義でした。(医師)
- 訪問看護師のため副作用の気付きになる。安心してターミナル期を過ごせるようにしたい。(看護師)
- とても分かりやすい座学でした。ターミナルに関わっており、苦痛の緩和に対し悩むことがありました。それが解決された気がします。(看護師)

令和元年度 認知症対応力向上多職種協働研修会 開催報告

綴喜医師会

9月28日(土)、Spa & Hotel 水春 松井山手(京田辺市)にて、小川医院 院長 小川智氏、中村診療所 院長 中村肇氏、まつだ在宅クリニック 院長 松田かがみ氏、緩和ケア訪問看護ステーション架け橋 代表 濱戸真都里氏にご講演いただき、グループワークでは事例検討を行いました。医師10名、多職種32名の方が参加されました。



開催地区:綴喜医師会での様子

下京西部医師会

11月9日(土)、京都府医師会館にて、ワールドカフェ方式で事例検討を行いました。医師11名、多職種21名の方が参加されました。コメンテーター兼ファシリテーターとして、下京西部医師会 関医院内科循環器科 院長 関透氏、下京西部医師会 大森医院 院長 大森浩二氏、南歯科医師会 徳地歯科医院 副院長 和田智仁氏、下京南薬剤師会 そうごう薬局 西大路九条店 亀井貴志氏にご協力いただきました。



開催地区:下京西部医師会での様子

綾部・福知山医師会

11月30日(土)、ホテルロイヤルヒル福知山にて、ワールドカフェ方式で事例検討を行いました。事例提示には、綾部医師会 会長 大槻匠氏、福知山医師会 理事 西垣哲哉氏にご協力いただき、医師9名、多職種25名の方が参加されました。



開催地区:綾部・福知山医師会での様子



開催地区:綾部・福知山医師会にて検討会の様子

令和元年度 かかりつけ医認知症対応力向上地域連携研修会(伏見医師会)開催報告

12月7日(土)、伏見医師会館にて、高安医院 院長 高安聡氏、医仁会武田総合病院 副院長 神田益太郎氏を講師に迎え、「かかりつけ医認知症対応力向上研修 テキスト」に沿って、①「かかりつけ医の役割」、②「診断と治療」、③「連携と制度」についてご講演いただきました。医師28名、多職種3名が参加され、「大変分かりやすくまとまっていて、短時間で多くの情報が得られたのが良かった(医師)」、「医師をはじめ、多職種と関わる上での、医師の判断過程等の理解が深まった(保健師)」等の感想をいただきました。



全体の様子

令和元年度 第4回 京都在宅医療塾Ⅱ～実践編～ 開催報告

11月20日(水)、京都府医師会館にて、「知っておきたい!在宅での輸液スキル～在宅での高齢者の肺炎・脱水時の対応について～」と題し、洛和会音羽病院 総合内科・リウマチ部門 部長 谷口洋貴氏、まつだ在宅クリニック 院長 松田かがみ氏、医療法人社団 淀さんせん会 金井病院 訪問看護認定看護師 勝本孝子氏の3名にご講演いただき、医師22名が受講されました。基礎講義の後は、訪問看護認定看護師の方々をファシリテーターとし、皮下輸液の実際を学ぶ実習を行いました。



皮下輸液実習の様子



実習風景の様子

● 受講者の声 ● (受講後アンケートより抜粋)

- 具体的な指導と、理論的な解説、両者があってよかった。
- 実技演習で直接、器具・装置を使ったのが良かった。

(公財)勇美記念財団助成 第10回近畿在宅医療推進フォーラム 開催報告

11月30日(土)、京都府医師会館にて医療・介護関係者及び府民を対象にフォーラムを開催し、225名(うちアンケート回答者は、165名、医師9名、看護師46名、多職種29名、一般72名、無回答9名)の参加をいただきました。

テーマを「在宅医療どないします?」として、第1部 基調講演は、医療法人社団 理事長 渡辺康介氏を講師に迎え、在宅看取りの事例を中心に在宅医療の取り組みや、元気なうちに自身の死について考えるための「死の準備教育」が必要であることなどをわかりやすくご講演いただきました。講演で紹介した患者に縁のある歌手・工藤慎太郎氏より歌を披露いただき、楽曲を通じて故人を忍びながら会場は優しく穏やかな雰囲気となりました。

第2部は一転して「在宅笑百科 在宅医療あれこれ」と銘打ち、寸劇で在宅医療の導入時と在宅看取りの場面紹介を行い、会場にクイズ形式でフォーラム実行委員 白山宏人先生・桜井隆先生のご協力のもと、時に笑いを交えながら患者・家族役のスタッフや会場の疑問に医師・訪問看護師・歯科医師・介護支援専門員・薬剤師・作業療法士が回答し、各専門職の職域や在宅医療の制度などを紹介しました。

参加者アンケートでは、「自身の死について考えることや人生会議の必要性を理解できた」、「在宅医療には様々な職種がかかわることなど在宅医療における多職種連携についての理解が深まった」などの感想をいただきました。



大阪北ホームケアクリニック 院長 白山宏人氏(右) さくらいクリニック 院長 桜井隆氏(左)



シンガーソングライター 工藤慎太郎さん



医療法人社団 理事長 渡辺康介氏



在宅笑百科の様子

在宅医療あれこれ

診療報酬編 2020年1月15日

問. 訪問看護師に指示して点滴してもらった注射薬の請求ってできるのかな?

答. できるんです。

「医科点数表の解釈」(青本)より(保険医の診療日以外の日に実施した点滴・処置等に係る薬剤、特定保険医療材料)

◇在宅医療において、患者の診療を担当する保険医の指示に基づき、当該保険医の診療日以外の日に訪問看護師等が、当該患者に対し点滴又は処置等を実施した場合は、使用した薬剤の費用については【第3節薬剤料】により、特定保険医療材料の費用については【第4節特定保険医療材料料】により、当該保険医療機関において算定する。

解説

主治医の指示に基づき、医師の診療日以外の日の訪問看護で点滴や処置等を行った場合、使用した薬剤や特定保険医療材料の費用は医療機関が算定することになります。この場合、医療機関の診療報酬明細書(レセプト)の摘要欄に、当該薬剤や特定保険医療材料が使用された日を記載してください。なお、在宅医療で使用できるものは、「厚生労働大臣が定める」注射薬と特定保険医療材料に限られますのでご注意ください。

訪問看護を受けている在宅患者について、主治医が看護師または准看護師に週3日以上患者を訪問して点滴注射を実施することを指示し、看護師等が実施した場合、その3日目に「C005-2在宅患者訪問点滴注射管理指導料(100点)」と薬剤料が算定できます。週3日以上点滴注射を指示したものの、2日以下しか実施できなかった場合、「C005-2在宅患者訪問点滴注射管理指導料(100点)」は算定できません

が、使用した薬剤は算定できます。

もちろん、医師が訪看に指示した内容はカルテ又は「在宅患者訪問点滴注射管理指示書(有効期間7日以内に限る)」への記載が必要です。

「C005-2在宅患者訪問点滴注射管理指導料(100点)」の算定等、訪問点滴実施時の留意点などは次号以降にも掲載したいと思います。

あとがき

在宅医療に関わる診療報酬等について、「在宅医療あれこれ」で取り上げるようになりました。新年度には診療報酬改定が控えています。在宅診療報酬をより身近にさせていただくための当企画、皆様のお役に立てることを切に願っております。

在宅医療に関する報酬請求についての疑問等も是非お寄せください。

京都府医師会 理事
角水正道